



第1号議案資料 2024（令和6）年度事業報告

I. 法人の使命と事業

I - 1. 宇都宮まちづくり市民工房の使命

宇都宮市の市民活動活性化に関する事業、および行政、営利団体、市民活動団体がそれぞれの特性を活かして協働するための事業を行い、「市民の手による、市民のためのまちづくりの実現」に寄与することを目的とします。

I - 2. 主な事業

市民工房の定款上の事業の種類は以下の通り。

- ①市民活動に関する情報・資料の収集および提供
- ②市民活動に関する相談
- ③市民活動団体間および企業または行政との交流連携の促進および支援
- ④市民活動に関する調査研究および政策提言
- ⑤コミュニティ活性化事業の支援
- ⑥市民活動に関する人材育成
- ⑦宇都宮市まちづくりセンターの管理運営

II. 2024（令和6）年度 宇都宮まちづくり市民工房 事業報告

2024年度通常総会で承認された2024年度事業は以下の通りである。下線は未実施。

II - 1. コミュニティ活性化事業の支援 定款⑤	<p>1) 中山間地交流プロジェクト (1) 塩原里山整備事業 (2) 横川清水原の耕作放棄地の活用 ほか</p>
II - 2. 市民活動の人材育成 定款⑥	<p>1) 非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化 (1) NPO 法人事務力アップセミナー／ NPO 法人事務力検定初級 (2) とちぎ地域女性活躍実践塾（とちぎ男女共同参画センター）：新規事業</p> <p>2) NPO 組織の実務向上事業 (1) IT 活用に関する相談および実践に向けての 入門・基礎講座</p> <p>3) NPO への伴走支援事業 (1) 自治会支援 ・宇都宮市元気アップ研修会 (2) 地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等 の取り組みモデル調査（内閣府）：新規事業</p>
II - 3. 市民活動に関する 調査研究および 政策提言 定款④	<p>1) 共助社会研究会 (1) 居住支援法人についての調査研究 : こらぼワーク委託事業</p>
II - 4. まちづくり支援 定款⑦	<p>1) 宇都宮市まちづくりセンターの管理運営</p>

II - 1. コミュニティ活性化事業の支援 (定款⑤)

II - 1 - 1) (1) 塩原里山整備事業

2020年度から4年間続いた「農村ファン創出事業（栃木県委託事業）」を自主事業として引継ぎ実施している。2024年度は、II - 2 - 3) (2) 地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取り組みモデル調査を一部活用した。

<事業の対象とねらい>

- ・対象：里山保全の必要性に関心のある市民・企業
- ・ねらい：①中山間地の現状を現場で把握し、整備事業に関わる意義を理解してもらう
 ②現場で活動する団体への支援に結び付ける

<実施内容>

1. 里山整備の活動

一般社団法人青空プロジェクト THE DAY の活動に参加して、古道やシークレットベースの整備を行った。

4月から翌3月まで計12回実施し、延べ67名（うち農村ファン34名）が参加した。

▶ 古道整備の様子



▶ シークレットベース整備の様子



▶ シカの被害

2. 青空食堂

農村ファンの方々へのおもてなしをしたいと、地元の女性たちが青空食堂を始めた。その日の朝、畑で収穫した大根やかぶ、山から採ってきた山菜やきのこ、挽きたて・打ちたて・茹でたての三たてそばなど、地元食材をふんだんに使った料理を無料で提供してくださり、農村ファンには大好評の企画となっている。食堂開催以外にも、県内先進地への視察を行うなど、積極的に活動を広げている。



大根カレーやかぶピザ、三たてそば、煮物など地元食材を使った料理を毎回提供してくださっている。



3. 農村ファンと地域をつなぐ未来創出事業

2023年度で終了した農村ファン事業の最後の活動として、5月25日に那須町高瀬集落での草刈りに参加した（市民工房から2名）。

<今後の活動について>

活動も5年目を終え、参加してくれる農村ファンも着実に増えてきた。リピーターになって下さることから、自身の活動に意義を見出していくだけたものと感じている。そして参加者が周囲の方々にお声かけしてくれるなど、その輪がさらに広がっている。今後活動を継続する上で、交通費やボランティア保険、燃料費をどう賄うかが課題となる。活動内容を広報周知しながら、支援も広げていきたい。

II - 1 - 1) (2) 日光市三依交流プロジェクト

2007年12月にスタートして18年目

<事業の対象とねらい>

- ・対象：自然と共に存した暮らしや農業に関心のある都市部住民および三依地区の住民
- ・ねらい：①農作業を通した自然との関わり方、②地域における支え合いや近所付き合いの現場を学びながら、都市部の地域課題について考える機会を提供する。

<実施内容>

1. 遊休地（清水原）の活用

電気柵完備の清水原農場を使わせていただいている。作業日は22日（うち1日は宇都宮）、延べ23名の参加であった。

<今後の活動について>

事業継続については、自治会長と意見交換して決める予定。

II - 2. 市民活動の人材育成（定款⑥）

II - 2 - 1) 非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化

(1) 全国一斉オンライン事務力アップセミナー&検定【栃木会場】

多岐にわたる NPO の運営実務全般を学ぶことができる「NPO 事務力セミナー」と、身に着けた運営実務に関する知識を確かめることができる「NPO 事務力検定」を NPO 法人とちぎ協働デザインリーグと共同担当で実施した。

日 時：2025年2月7日（金）10：00～17：15

会 場：宇都宮大学陽東キャンパス2号館2階224教室

主 催：全国事務支援カンファレンス

栃木会場担当：NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房

／NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ

参加者：セミナー受講者6団体7名、うち5名が検定受講



(2) とちぎ地域女性活躍実践塾

とちぎ男女共同参画センター委託事業（1,499,190円）

<事業の対象とねらい>

- ・対象：栃木県内で活躍する「とちぎ地域女性団体」
- ・ねらい：伴走支援による団体の基盤強化と活動実施および助成金交付による財政支援

<実施したこと>

事業内容は、1.実践団体の募集・選考、2.全体研修会開催、3.実践事業の伴走支援、4.活動成果報告会開催、5.助成金交付、である。

1. 実践団体の募集・選考

5月9日から募集を開始し、予想を大きく上回る15団体から応募があった。審査委員4名による書類選考の結果、次の6団体を採択した。

- ①たまり場 Brains、②&nurse、③こども食堂“みんなあつまれ！”、④いちご fam
- ⑤学生団体「空き家の友」、⑥NPO 法人栃木県こども応援なないろ

2. 全体研修会開催

7月13日（土）13：30～16：00@パルティ301研修室

6団体がこれからの活動内容を発表したのち、2団体1組に分かれて、それぞれの事業について意見交換を行った。



3. 実践事業の伴走支援

12月に各団体とオンラインで近況報告および意見交換、会計中間報告を行った。また宇都宮大学生が各団体の活動現場を訪問し、聞き取り調査を実施した。その内容は事例集として年度末に出版した。

4. 活動成果報告会

2025年3月15日（土）13：30～15：30@パルティ301研修室

実践6団体16名、一般県民3名参加。各団体の活動報告ののち、会場との意見交換を行った。



5. 助成金交付

6団体に合計586,330円の助成金を交付した。

<今後の活動について>

2025年度も本事業のプロポーザルがあり、市民工房の事業案が採択された。基本的には同様の事業内容で実施する予定である。

II - 2 - 2) NPO組織の実務向上事業

(1) NPO法人のための会計講座

まちぴあ・宇都宮市と市民工房の連携事業として、NPO法人を対象とした会計講座を開催した。主に宇都宮市内のNPO法人に郵送でチラシを送付し、7団体・個人から申し込みがあった。

▶会場：まちぴあ

▶日時：いずれも18時半～20時

第1回 2024年12月12日(木) 11名参加 「NPO法人会計の基礎を学ぶ」

第2回 12月19日(木) 11名参加 「NPO法人の決算書類を作る」

▶講師 NPO法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事 土崎雄祐氏



第1回



第2回

II - 2 - 3) NPOへの伴走支援事業

(1) 自治会への支援

2024年度宇都宮市自治会元気アップ研修会～

宇都宮市自治会連合会委託（800千円）

<事業の対象とねらい>

- ・対象：主な対象は、宇都宮市内で自治会活動に関わっている役員
- ・ねらい：2021（令和3）年度から実施してきたが、今年度は①既存の事業を見直してアップデートする、②だれもが参加しやすい自治会を目指す、を念頭に防災をテーマに

取り上げ、より多くの会員が参加してくれる防災訓練を考える機会として2回の講座を実施した。

<実施内容>

- ▶主 催：宇都宮市自治会連合会
- ▶共 催：宇都宮市
- ▶企画運営：特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房
- ▶講 師：NPO 法人プラス・アーツ 服酉信吾氏
- ▶内 容：

第1回 10月9日（水）13：30～16：00

会場 平石地区市民センター、11地区から27名参加

- ・ワークI 企画の種探し
- ・ワークII 企画を実現しよう

第2回 10月16日（水）13：30～16：00

会場 姿川地区市民センター、13地区から27名参加

- ・ワークI 既存の防災訓練の課題抽出
- ・ワークII 課題の解決策を考える



<まとめ>

1回目の研修では、「自分が今、気になっているもの」を抽出したのち、それらと防災訓練を掛け合わせたらどんな企画ができるか、というワークを実施した。参加者は戸惑いながらも、さまざまなアイディアを出していたのが印象的だった。たとえば

- ・車中泊をしてみたい → 防災訓練で車中泊を取り入れてみる
- ・ホームセンターめぐりをしたい → ホームセンターの防災グッズを探す
- ・スーパーでの買い物 → スーパーに陳列している防災食探しやメニューを考える
- ・キャンプをしたい → 新聞紙を使った火おこしや、防災対策を体験する
- ・ハロウィン → まちあるきとハロウィンを合体させる

毎回研修のたびに課題として挙げられるのが、「研修参加時には意識が高揚するが、持続しない」点である。今回も、自分たちの防災訓練に何かしらの変化を引き起こす事例がでてくれれば、意義のある企画だったといえるだろう。アンケートには「来年は手作りの防災訓練を実施したい」との記載もあったことから、期待したい。

(2) 地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取り組みモデル事業

内閣府・NTT データ経営研究所 (1,999,800 円)

<事業の対象とねらい>

- ・ねらい：日常生活における孤独・孤立の予防や早期対策につながる活動への支援
- ・対象：市民工房は以下を対象として事業を行った。
 - ①就労前の大学生を含む若者
 - ②就労を終えたりタイア組
 - ③幅広い年代の女性



<実施したこと>

- ①から③の対象ごとに事業を実施した。
- ①学生サークルとコミュニティのつながり創出

宇都宮市の自治会と連携してスマホ教室を開催し、高齢者を中心とした会員と交流しながら、地域の中で自分たちにできる役割があることを実感する。

1回目 宇都宮市陽東地区 地域住民14名、学生8名参加

2回目 宇都宮市御幸地区 地域住民7名、学生5名参加

②リタイア組を中心とした里山整備事業

就労を終えたりタイア組を主な対象に、荒廃が進む里山整備事業に参加しながら、活動の意義を実感し、関係人口となる。

事業内容については、II-1-1) (1) 塩原里山整備事業参照。

本モデル事業としては、8月から1月までに8回実施し延べ26名参加している。

③地元女性グループによる青空食堂事業

上記②の活動現場で暮らす女性たちが、活動参加者（関係人口）への食事を提供して交流を深める取り組み＝青空食堂を開催し自らの生きがいや地域での役割を再認識する。同じく塩原里山整備事業参照。

本モデル事業としては、青空食堂を9回開催した。

II - 3. 市民活動に関する調査研究および政策提言 (定款④)

II - 3 - 1) 共助社会研究会

(1) 居住支援法人についての調査研究

こらぼワーク委託事業（2024年4月～6月 99,000円）

居住支援の現状を学ぶことを目的に、研修会、シンポジウム、調査報告会にオンライン参加し、内容を報告書としてまとめた。

II - 4. まちづくり支援 (定款⑦)

II - 4 - 1) 宇都宮市まちづくりセンター



宇都宮市
まちづくりセンター

1. 活動場所等の提供 および 2. ネットワーキング

1) 2024(令和6)年度の利用状況および情報発信 ()内は前年度

利用者	相談	研修室利用	ミーティング 利用
1,483人/月 (1,294人/月)	35件/月 (33件/月)	1,397団体/年：占有率64%* (1,282団体：占有率55%)	472回/年 (471回)
HPアクセス	ブログアクセス	団体登録（累計）	情報誌
4,728件/月 (4,659件/月)	46,151件/月 (41,846件/月)	213団体：新規26、継続187 (215団体：新規24、継続191)	年4回 3,000部
貸しオフィス		ロッカー	
9団体が11区画に入居	大12・小28（残20）		

* キャンセル前 71% 他に情報展示室利用団体 75団体 (57団体)

2) 交流事業の企画運営 (下線は2024年度新規事業)

①フェスタmy宇都宮「まちぴあひろば」 5月19日に開催し、まちぴあを含む11団体が城址公園会場に出展した。

②まちぴあまつり 10月13日に、登録団体及び今泉自治会を含む12団体が出展し、高校生ボランティア8名の参加も含め、約200名の参集があった。各団体の趣向を凝らした出展に加え、餅つき体験などを催した。

③まちぴあオフィス意見交換会 年4回実施し、「オープンデー」とも連携し、入居団体が講師役を担当するコラボ回（2回開催）も開催した。のべ参加者：43名。



⑤まちぴあ協力事業 協力申請（取材依頼）2団体を対象にHP、ブログで発信した。また、市助成金交付団体（22団体）の団体及び活動紹介の周知も行った。

⑥まちぴあオープンデー 感染症の影響で減少した施設利用、団体活動の回復を目的に、登録団体と連携しイベントを年7回実施した。延べ参加者：116名。

3) 活動主体間の相互理解促進のための企画

①ボランティア体験プログラム「釜川コケ落とし大作戦」 7回実施、総参加者：118人。釜川じゃぶじゃぶ池周辺の中央地区の美化活動を実施した。

②ボランティア体験プログラム「クリーン＆ウォーク」 5回実施、総参加者：46人。城址公園周辺や、まちぴあ周辺の地域で実施した。

③体験プログラム「いつでもクリーンウォーク」 6回実施、総参加者：67名。定例開催時に参加できない学生、事業者からの活動希望者に対応できた。

④ボランティア体験プログラム「地域編」 高校生等若者を対象に、今泉地区の地縁組織の年間行事に参加する体験事業を年3回実施した。総プログラム参加生徒：39名。

3. データバンク・調査研究

1) データバンク「マッチングシステム」全登録団体の情報を掲載した。

2) 団体活動取材 令和6年度市民活動助成金交付22団体をはじめ、団体主催のイベント等の周知、取材記事等を掲載した。

3) 調査研究事業 2025年3月1日、宇都宮大学地域デザインセンターとの共催による、「総合的な探求の時間＆まちづくり」と題したシンポジウムを開催した。県内6高校による地域活性事業の事例紹介等を行い、生徒、教員など関係者、約70名が参加した。

4. NPO法人等設立・運営支援

1) 相談対応 月平均35件（年間423件）の相談があった。

5. 事業支援

1) 宇都宮市市民活動助成金事業 審査会（6月1日 審査：23、交付22団体）の運営を支援し、2025年1月21日に令和7年度分の説明会（参加：7名）を行った。

2) NPO等を対象にした助成金説明会 赤い羽根等の民間助成金説明会を10月11日に、ぽぽらにて開催。県内6センターと連携し、サテライト実施した。参加者数：20名。

3) 事務局おたすけ講座（連続講座） 助成金への申請を目標とした組織づくり及び運営に関する3回連続講座を実施した。延べ参加者数：10名。

4) 市民工房との連携事業 市民工房並びに事業者と連携し、NPO法人向け会計ソフト使い方及び決算書作成講座を2回実施した。参加者：28名。

5) 活動再開支援事業 活動再開を目指す地域活動団体からの相談に対応する。登録団体に加え、築瀬地域からの相談に、計2回対応した。

6. 人材育成

- 1) プチ起業立ち上げ講座 コミュニティビジネスの手法を活かした組織・事業づくり講座（全3回）を3月中に開催した。参加者数：62名。
- 2) まちづくり応援事業 「まちづくり活動応援事業」の利用に関する相談対応を行った
- 3) 外部組織との連携
 - ・「コラボーレもおか」他センターと連携し、中学生向けガイドブックを作成配布した。
 - ・市LRT協働広報室と連携し、「LRT1周年イベント」（8月）にブース出展した。
 - ・とちぎコープと連携し、「コープフェスタ2024」（10月）にブース出展した。

7. 財政状況 (千円)

	収入	支出	消耗品備品費	742	1,014
	29,100	27,261	謝金	241	194
支出内訳	予算	決算	通信運搬費	393	311
人件費	18,537	18,254	印刷製本費	978	755
委託費/賃借料	3,069	3,000	公租公課	1,332	1,332
光熱水費	2,165	1,431	その他*	8	970

*エアコン等修繕費 624千円

III. 市民工房の組織運営

III - 1. 会員数

2025（令和7）年3月31日現在 個人正会員32名、団体正会員3団体
 個人賛助会員9名、団体賛助会員6団体

III - 2. 認定NPO法人

第3期 2023年10月25日から2028年10月24日まで

III - 3. 理事会の開催

(1) 2024年度第1回（通算第95回）理事会

- ・日 時：4月16日（火）18:00～19:30
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web会議システム
- ・議 題：2024年度通常総会に上程する議案について承認を求める件
- ・出席者：9名（うち表決2名）

(2) 2024年度第2回（第96回）理事会

- ・日 時：9月2日（月）18:00～18:45
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web会議システム

- ・議題：1) 2024年度上半期事業報告及び下半期事業進捗
 - 2) 手形貸し付け融資について
 - 3) 賃金規定改定について
 - ・出席者：9名（うち表決1名）
- (3) 2024年度第3回（第97回）理事会
- ・日時：2025年1月30日（木）18:00～18:45
 - ・場所：宇都宮市まちづくりセンター+Web会議システム
 - ・議題：1) 2024年度事業の進捗について
 - 2) 宇都宮市まちづくりセンター指定管理業務引き継ぎについて
 - 3) 2025年度事業計画案について
 - 4) その他
- ・出席者：9名（うち表決3名）
- III - 4. 2024年度通常総会（第20回）の開催
- ・日時：2024年5月24日（金）18:30～19:15
 - ・場所：宇都宮市まちづくりセンター1F+Web会議システム
 - ・議題：2023（令和5）年度事業報告および決算報告／監査報告／2024（令和6）年度事業計画（案）および予算（案）の審議ならびに承認について／登記申請書類の字句の修正の委任について
 - ・出席者：個人正会員35名・団体正会員3団体中 31名・団体（うち委任22名・団体）

IV. まとめ

2024（令和6）年度は、（1）中山間地支援、（2）自治会支援、（3）女性活躍支援、を中心に実施した。

- (1) 中山間地支援 ひきつづき一社) 青空プロジェクト THE DAY の活動支援を行った。そのうち一部は、内閣府委託事業として実施した。活動参加者も増えてリピーターとなっていたなど、広がりを実感できた1年であった。交通費など活動に必要な費用をいかにねん出するかが今後の課題となる。
- (2) 自治会支援 宇都宮市自治会連合会の委託事業「元気アップ研修会」も4年目となつた。「既存事業のアップデート」をキーワードに、地域の防災訓練の魅力向上を目指した講座を企画実施した。参加者の固定化、内容のマンネリ化などが指摘される中で、講座で得た知見を実際に生かしていくことが求められている。
- (3) 今年度新規事業として、栃木県男女共同参画センター委託事業「とちぎ地域女性活躍実践塾」を実施した。女性を中心に企画立案・実施を行う団体への伴走支援で、5団体枠を大きく上回る応募があり、事業の必要性と期待をあらためて理解することができた。来年度も同様の内容で実施することが決まっており、支援のすそ野を広げていきたい。

(4) まちぴあ指定管理 今年度第三期をもって終了した。2005年の法人設立以後20年に渡り、宇都宮市の中間支援センターの運営に携わってきたが、宇都宮市の市民活動支援、まちづくり活動の活性化に少なからず寄与できたのではないかと思う。ご協力いただいた皆様に、感謝申し上げます。

公的センターの管理運営という柱が終了し、さらに法人設立20年の節目を迎えるにあたり、これから事業内容、さらには組織のあり方を検討する大切な時期となる。一つ一つの事業を大切に行いながら、5年後を見据えた議論を進めていきたい。

第4号議案資料 定款変更（案）

（事業の種類）

第5条 この法人は、その目的を達成するために、次の事業を行う。」

- ①市民活動に関する情報・資料の収集および提供
- ②市民活動に関する相談
- ③市民活動団体間および企業または行政との交流連携の促進および支援
- ④市民活動に関する調査研究および政策提言
- ⑤コミュニティ活性化事業の支援
- ⑥市民活動に関する人材育成
- ⑦宇都宮市まちづくりセンターの管理運営

変更案 ⑦宇都宮市まちづくりセンターの管理運営 の削除